



2013-2014 年  
RI 会長 ロン バートン  
第 2640 地区ガバナー 久保治雄

## 第 1781 回例会

平成 26 年 3 月 24 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. ゲスト紹介  
和歌山県発明協会  
常務理事（事務局長） 池本 重明 様
4. 出席報告  
会員総数 50 名 出席者数名 30 名  
出席率 60 % 前回修正出席率 68 %

### 5. 会長スピーチ



ていたら 8 回の裏に 2 点、9 回の裏に 2 点をとられ逆転負けてしまいました。しかし海南高校の選手の皆さん、よく頑張ったと思います。選手の皆さんに感動と感謝与えてくれて有り難う、とお礼を申し上げたいと思います。ご苦労様でした。

さて、今日のゲスト卓話は、和歌山県発明協会常務理事（事務局長）池本重明様であります。皆さんご静聴よろしくお願ひいたします。

また、ロータリーの友に米山奨学会の記事が掲載していましたので、紹介したいと思います。

[ロータリー米山奨学会] ありがとう、ロータリアン！21世紀のシルクロードをつなぐ

一般財団法人ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金の代表理事、バヒリディノフ マンスール マルフオビーチさん。日本との知られざるつながり。

皆さんは、ウズベキスタンにどんなイメージをお持

ちですか。「日本とはなじみが薄いのでよくわからない」という方も多いかもしれません、とんでもありません！ウズベキスタンが日本と正式な外交関係を結んだのは旧ソビエト連邦から独立した後ですが、実ははるか昔からシルクロードによってつながっており、ウズベクの商人が奈良まで来ていたそうです。

日本はウズベキスタン独立後、経済・教育分野などで全面的にサポートしてくれました。ウズベク人の日本に対する関心は高く、礼儀正しい国民性や家に入る時に靴を脱ぐ習慣など、日本との共通点も数多くあります。日本語学習者数も中央アジアでは断トツです。そして、非常に親目的です。

第二次世界大戦後、シベリアの日本人抑留者のうち約 2 万 5,000 人がウズベキスタンへ送られ、施設の建築やインフラ整備に携わりました。そのうちの一つ、ナヴォイ劇場が二度の大地震にも倒壊しなかった、というエピソードは有名です。とても複雑な時代だったにもかかわらず、当時の方々が日本に帰国した後、ウズベキスタンとの最初の友好協会を福島県に作ってくださいましたことに、僕は感動を覚えました。ウズベキスタン政府も、13 か所にわたる日本人墓地を整備し、友好の証として維持管理に努めています。

6. 幹事報告 幹事 大谷 徹君  
○メーキャップ 和歌山東南 RC 谷脇 良樹 君 3 月 19 日
- 例会臨時変更のお知らせ 和歌山南 RC 4 月 25 日(金) → 4 月 25 日(金)  
18:30~ ダイワロイネットホテル  
(姉妹クラブ 新齊州 RC 歓迎夜間例会)

### 7. ゲスト卓話

和歌山県発明協会 常務理事（事務局長） 池本 重明 様

#### [紹介]

池本様は、海南市のご出身、ご在住で、長年、県の工業技術センターに勤務され、専門技術の研究や開発に取り組まれ、センターでは重要な部署の要職を歴任されました。平成 24 年に同食品産業部長を勤められた後、現職の和歌山県発明協会 常務理事・事務局長に着任されました。

四つのテスト 實行はこれにてらしてから  
①真実かどうか ②好意と友情を深められるか  
③みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 S A A : 重光 孝義

この間、放送大学で「清酒酵母開発と地酒造り」の講師などをされるほか、発明協会では、特許等取得活用支援事業などに積極的に取り組まれ、経済産業省や県内の各中小企業支援機関と連携を図り、中小企業等の知的財産マインドの発掘、特許情報の提供や活用を行うための窓口として、県内の中小企業が抱える知的財産に関する悩みや課題に対する相談、支援事業に取り組まれています。

### 一般社団法人 和歌山発明協会の紹介



和歌山県発明協会は、昭和 24 年に設立された社団法人発明協会和歌山県支部を基盤として和歌山県の地域性を加味した発明の奨励及び知的財産権制度の普及啓発を図ると共に、青少年の創造性育成に努め、もって県内産業の発展に寄与する事を基本としています。事務所は、和歌山市本町 2

丁目 1 番地(フォルテワジマ 6 階) にあります。

主な事業活動は、知財総合支援窓口(特許等取得活用支援)の開設、知的財産経営戦略セミナーの開催。少年少女発明クラブ、私たちの工夫展、全国発明表彰。地方発明表彰などを行っています。

「知財総合支援窓口」には 3 人の「窓口支援担当者」が常駐し特許等に関する無料相談に応じています。案件によっては、弁理士等の専門家と窓口支援担当者と共同で課題の解決に当たります。県内の中小企業等が企業経営の中でノウハウも含めた知的財産活用を円滑にできる体制を整備し、アイデア段階から事業展開までの一貫した支援と知的財産マインドの発掘を行うため、県内各地(和歌山市、橋本市、かつらぎ町、紀の川市、有田市、有田川町、御坊市、みなべ町、田辺市、白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市)に知財総合支援窓口・臨時支援窓口を設置します。そこに専門の人材を配置し、中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できるよう特許等取得活用支援事業を実施します。

また、平成 25 年 11 月 2~4 日、和歌山市フォルテワジマにおいて、第 46 回「私たちのくふう展」が開催しました。明日を担う児童生徒を対象に創意工夫する楽しさ、ものをつくりあげる喜びを体験してもらい豊かな創造力を養うことを目的に、今年も「私たちのくふう展」(共催:一般財団法人雑賀技術研究所)を開催しました。会場には各学校から推薦のあった 651 点の作品が展示され、それらの中から、「特別賞」が 30 点、また取組が熱心な学校として 1 校が「学校表彰」を受けました。3 日間で約 1,400 人が入場され、大変盛況でした。

また、平成 25 年 2 月 14 日(木)に第 3 回知的財産経営戦略セミナーを開催しました。近年、中国・台湾などにおいて、日本の地域ブランドが第三者によって商

標出願される問題が相次ぐ中、昨年 9 月、中国商標局に香港の企業が商標「紀州」の文字を使って釣り竿や運動用具などの分野で商標出願していることが判明しました。商標登録されてしまうと日本企業が「紀州」銘柄の商品を中国で販売する場合、中国の企業から「こちらが最初に商標登録していた」と訴訟問題に発展し兼ねません。こうした事態を防ぐため、和歌山県では平成 22 年 1 月から民間企業に委託して、中国と台湾を対象に「紀州」や「和歌山」での商標出願を監視してきました。今後、経済成長の著しい中国・台湾において事業を展開する上で、商標問題への対応は必要不可欠と考えられることから、関係市町村、各種団体、県内事業者向けに、中国、台湾における商標制度の正しい知識を習得頂くためです。

最後に入会のご案内です。皆様には、協会の諸業務をご理解いただき是非ご入会下さいますようご案内申し上げます。多くの会員の特典、各種情報等の料金割引、特許講座などの受講料、知的財産権関連情報の定期配布、月刊誌「発明」(法人会員のみ)・新聞「月報はつめい」、県内技術開発ニュース、各種情報・催事等の案内、法律改正や説明会、講習会、相談会、研究会、見学会などで、関心のある方はご入会ください。

### 8. 閉会点鐘

#### 次回例会

第 1782 回例会 平成 26 年 3 月 31 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

会員卓話 山名 正一 君



### ニコニコ・BOX

- 小椋 孝一 君 本日の卓話 和歌山県発明協会常務理事の池本重明様、ご苦労様です。宜しくお願い致します。
- 大谷 徹 君 池本様、本日、卓話ありがとうございます。
- 柳生 享男 君 池本様 卓話ありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。
- 寺下 卓 君 池本様、本日は卓話ありがとうございます。宜しくお願ひします。
- 山東 剛一 君 海南高校野球部の健闘、感激しました。宮田会長さん お疲れ様
- 林 孝次郎 君 高校野球の寄付、沢山頂きありがとうございました。海南高校球児の健闘見事でした。宇恵様にはバスの手配でご苦労かけました。ありがとうございました。
- 宇恵 弘純 君 海南高校球児の健闘見事でした。

3月は識字率向上月間です